

丹波篠山・福の住む里 福住さとねっと

Fukusumi Sato Net



令和5年2月21日

第 158 号

発行：福住地区まちづくり協議会
〒669-2513 丹波篠山市福住 342
TEL&FAX：079-557-0116
メール：fk.machikyo@gmail.com
http://fukusumiweb.tanbasasayama.com/

『3府県境「深山サミット」 2年ぶりに福住地区で開催！』

今回は福住地区から酒井隆明市長、高家徹地域振興課長、原田豊彦市会議員を、天王地区からは熊手俊行能勢町総務課長、西本梅地区からは東村登南丹市事務局長をお招きして、第5回目の深山サミットを開催しました。

今まで県境3地区は、少子高齢化、若者の流出、後継者問題など共通する課題が多く、これらの取り組みについて報告、意見交換をし合ってきました。

初めに西本梅地区の岡本あずささんが「私の思う地域振興とは」、次に福住地区は安達鷹矢さんが「戦略的移住推進モデル地区の取り組み」、最後に、天王地区は東正明さんが「スマート農業による中山間地域農業振興と関係人口・交流人口の増加」とそれぞれの地区の特色ある発表がされました。3名の発表とも、つい惹き込まれてしまう内容であり、意義ある意見交換も交わされ、地区間の協同化活動に繋がる意見交換もありました。午後には、NPO法人SHUKUBA 佐々木理事長による施設内見学や福住町並み案内人グループによる福住重要伝統的建造物群保存地区見学なども行いました。

=福住 ひなまつり中止！=

最近の新型コロナ状況により、室内での展示などによる感染拡大が懸念されるため、残念ながら今年度も開催を中止します。

～福住まち協 コミュニティ部会～



NPO 法人 SHUKUBA 「米粉の日」

SHUKUBA 加工所 daidocolab. (だいでこらぼ) では、ご好評いただいております製粉機を使った米粉加工を承っております。(1kg から) 希望者の方には真空パックにてお渡ししております。

- 加工賃：1kgあたり420円
- 真空パック：1kgあたり25円
- 申し込み：ご希望の方は加工所営業時間に電話(080-9534-4275)まで
- 営業時間：月・水・木曜日の9時～17時

「米粉の日」を毎月第4月曜に定期開催します！

2月は27日(月)、3月は27日(月)開催予定です。

一本杉販売所だより

やはり冬の間は入荷が少ないです。白菜・ダーサイ・後は黒豆・コシヒカリ・山の芋・里芋のほか、黒米・黒豆きな粉などです。

春が待ち遠しいですね。

福住では3年ぶりに雪花火が開催されました。関西国際大学の皆さんが熊野神社で竹灯籠を飾りつけました。冬の寒さを吹き飛ばす楽しい夕べとなりました！



伝建協・全国大会

おもてなしスタッフ募集！

本年5月24日(水)には全国各地から約200人のお客様が福住の町並みを視察に来られます。

現在、全建協の福住地区実行委員会ではその受け入れの準備を行っています。

受け入れには、休憩所で接待する人、施設を案内する人等が必要です。

24日(水)の午前中のみですが、福住の「おもてなし」をボランティアとして私たちと一緒に世話して下さる方を下記の通り募集します。ご協力をお願いします！

●日時：5月24日(水) 午前9時～12時

●場所：シュクバおよび住吉神社

●仕事内容：休憩所での茶接待、トイレ等の場所案内

●募集人員：30名程度(男女は問いません) ※中学生、高校生は不可

●募集期間：2月1日(水)～3月15日(水)

●応募連絡先

スタッフに応募される方は、①お名前②連絡先(住所・電話番号)を、総務部会事務局 畑(080-5714-8672)までお知らせください。

「近世福住宿の歴史を探る～樋口家文書を用いて～」

= NPO法人SHUKUBA古文書講座 =

去る1月30日、第2回SHUKUBA古文書講座を開催。西町に居住されていた樋口達兵衛さんから市へ寄贈いただいた587件、724点の資料の中から4箱の「数年来記録帳」を基に福住本陣役であった山田嘉右衛門家について、神戸大学大学院松本充弘特命助教より解説をしていただきました。以下、山田家の一部紹介。(年号毎の紹介はカット)

《先祖》

・元禄13年(1700年)山田家の祖、山田長七郎が篠山藩主形原松平家に銀25貫を貸し付ける。

・天明5年(1785年)屋号は「山形屋」。「請取申祠堂米之事」

《初代》 嘉右衛門→源内(隠居名) 居村(福住)庄屋役。本陣格。御用達。御払米役。苗字を許される。

《二代》 小助→嘉右衛門→加右衛門 組年番。荻田三太夫と両名で本陣役。福住御蔵元。郡取締本役。

《三代》 嘉兵衛→嘉右衛門 小助の弟 雨雪の折下駄を履くことを許される。亀山城「御立入」許される。御用掛。

松本先生からは、『数年来記録帳』から近世福住宿の特色、以下の点が指摘できるとご教示いただきました。

①初代篠山藩主の松平康重が入封した慶長14年(1609年)以来、諸役免許の特権を受ける。

②本陣が藩主の休泊に供される特別な宿駅である。休泊のたびに米一石が下賜されるとともに、毎年、年貢から5石が用捨される。加えて近世後期には種々の給米も支給された。

③文政3年以降、上りの通行には荻田三太夫、下りの通行には山田加右衛門の屋敷が本陣として用いられた。

④本陣役を担った山田嘉右衛門家は、福住村のみならず領内のさまざまな村で兼帯庄屋を務めるとともに、御用達や御払米役、郡取締への就任などを通じて藩政にも貢献した。さらに飢餓時の施行や難渋村の救済など、地域社会の慰撫にも努めていた。

⑤政治・軍事的な要因で交通量が急増した幕末期は宿駅の存続が危ぶまれるような厳しい時期であり、本陣役にあった荻田、山田は藩へ助成の拡大を再三求めることとなる。

今回は、近世福住宿の歴史を探るとして、山田嘉右衛門家を中心に幕末の本陣役の果たしてきた役割を古文書から読解しました。篠山藩政時代の福住宿の様子を垣間見ることができたように思いました。

NPO 法人 SHUKUBA 求人募集中！

NPO 法人 SHUKUBA は旧福住小学校を地域コミュニティ活性化施設として運営し、福住地区を拠点にして事業展開されるテナント入居者の誘致、チャレンジカフェ、農産加工所の運営をはじめ、古文書講座や各種イベントなどを行っています。この度、事業運営の充実を図るため、下記の求人を募集します。

① 製造スタッフ

【勤務時間】週2日程度、9時～17時

【基本給】時給1,050円、その他交通費支給、労災保険加入

【業務内容】農産加工所の製造業務

② 清掃スタッフ

【勤務時間】週4時間～6時間

【基本給】時給1,000円、その他交通費支給、労災保険加入

【業務内容】SHUKUBA 建物内の清掃業務

● 連絡先：NPO 法人 SHUKUBA 佐々木 (090-1915-2791) まで

大会まであと90日！

= 全国伝建協総会・研修会福住地区実行委員会 =

5月22日(月)から24日(水)の3日間に開催される丹波篠山市大会まであと90日。開催準備もラストスパートに入りました。

特に、5月24日(水)の福住地区の視察研修では、限られた時間の中で重伝建地区としての特色や魅力を余すところなくアピールして、視察研修参加者の皆さまに福住地区の良さを知り、感じてもらうことをめざしています。

そのため、当日のまちなみの雰囲気づくりや休憩所でのもてなしは、当然のこととして、何よりも町並みの案内を中心に関係者が一丸となって取り組んでいます。



本年に入り、町並みガイドの実践練習をすでに3回実施し、メインガイド、サブガイドのほか、福住地区住民の皆様も視察研修参加者役として加わっていただき、班編成を行い、メインガイドは小型拡声器を装着して模擬ガイドを行うなど大会当日を想定した実践練習を重ねています。その他町並みガイド以外にも案内所や休憩所の設置、駐車場の確保、案内板の設置、街道沿いのスタッフの配置など大会までの課題や問題点も逐次完了させる見込みです。

2月20日(月)に開催しました令和4年度第8回実行委員会では、これまでの取り組みをふり振り返りながら活発な議論を交わし、活動をギアアップして前進しています。

2月22日(水)に開催予定の市実行委員会では、大会準備の進捗状況、情報交換会、要員配置などを含めた丹波篠山市大会の全体像の詳細案が示される予定であり、仕上げ段階に入ることになります。丹波篠山委大会までわずか90日。福住地区の皆さまをはじめ、大会の成功を見守っていただいている多くの方々には、さらなるご理解、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

3年ぶりの雪花火開催！

